

『交通空白解消に向けた「北九州モデル」』が 国のパイロットプロジェクトに選ばれました。

令和7年5月7日に交通空白解消に向けた「北九州モデル」として発表した、官民連携の取組みが、国の「交通空白」解消パイロットプロジェクトに選ばれました。

現在、国は「交通空白」解消・官民連携プラットフォームを設置し、官民関係者の幅広い連携をもとに、全国各地において「交通空白」の解消に向けた取組を進めており、北九州市の取組が全国展開・実装を目指す先導的な取組として認められました。

「北九州モデル」により、交通空白解消に向けドライバーの確保に積極的に取り組んでまいります。

パイロットプロジェクトについては、国土交通省資料をご覧ください。

交通空白解消に向けた北九州モデル

- ①おでかけ交通のドライバーとして地域人材を活用
- ②おでかけ交通をアプリ予約可能とする等による利便性向上
- ③官民が連携した運転体験会や交流会の開催によるドライバー確保

【問い合わせ先】都市戦略局 都市交通政策課
民谷（課長）、柴田（係長）
電話：093-582-2518

令和 7 年 6 月 1 6 日
総合政策局地域交通課
総合政策局モビリティサービス推進課
物流・自動車局旅客課

「交通空白」解消パイロット・プロジェクト 第 4 弾を発表します！

国土交通省では、『交通空白』解消・官民連携プラットフォームを設置し、官民関係者の幅広い連携をもとに、全国各地において「交通空白」の解消に向けた取組を進めています。この度、同プラットフォームの取組の一つである『交通空白』解消パイロット・プロジェクトについて、第 4 弾を発表いたします。

「交通空白」解消に向けたパイロット・プロジェクトは、「交通空白」解消・官民連携プラットフォームのもと、全国で共通の「交通空白」に係る課題を抱える自治体や交通事業者と、その解決に寄与するソリューションを持つパートナー企業等が、国土交通省や各地方運輸局の伴走のもと連携・協働することにより、全国一斉での「交通空白」解消に寄与する事業を実施するものです。

このたび、重点項目を始めとした 5 分野（※別紙参照）のテーマを対象に公募した実証事業から 5 事業を採択し、パイロット・プロジェクト第 4 弾として当該事業を含む 10 件のプロジェクトをお知らせいたします。

なお、これまでに発表した各プロジェクトの時点報告を、本年秋頃を目途に実施する予定です。各事業の課題や成果を広く共有しながら、全国展開を推進します。

「交通空白」解消パイロット・プロジェクト

- 01 働き手不足に負けない「強い」事業基盤の構築
 - ① 過疎地版交通マネジメント組織の立ち上げ
 - ② 官民連携による地域人材を活用した交通空白解消に向けた取組
 - ③ ダイヤ貼替業務省力化プロジェクト
 - ④ QR コードによるチケット認証の標準化プロジェクト
- 02 若者や女性に選ばれる「楽しい」地域交通
 - ⑤ 学生やスタートアップと連携した地域交通コミュニティの形成
- 03 ナショナル・リソースを活用した共創（連携・協働）の推進
 - ⑥ 介護送迎のリソースシェア×介護予防に向けた外出機会の創出
 - ⑦ 地方新聞社が主導する地域交通サービス理解・利用促進
 - ⑧ バス・鉄道事業者による日本版ライドシェアへの参画
 - ⑨ カーシェアリングによる地域の法人車両活用プロジェクト

04 観光二次交通や情報発信の充実

⑩ 訪日外国人への「観光の足」の情報発信

※ プロジェクトの詳細については補足資料に記載しております。

<内容全般についての問合せ先>

総合政策局 地域交通課 板垣・菊地・阿南・春見・阿部
03-5253-8111（内線 54-827、54-724）、03-5253-8987（直通）

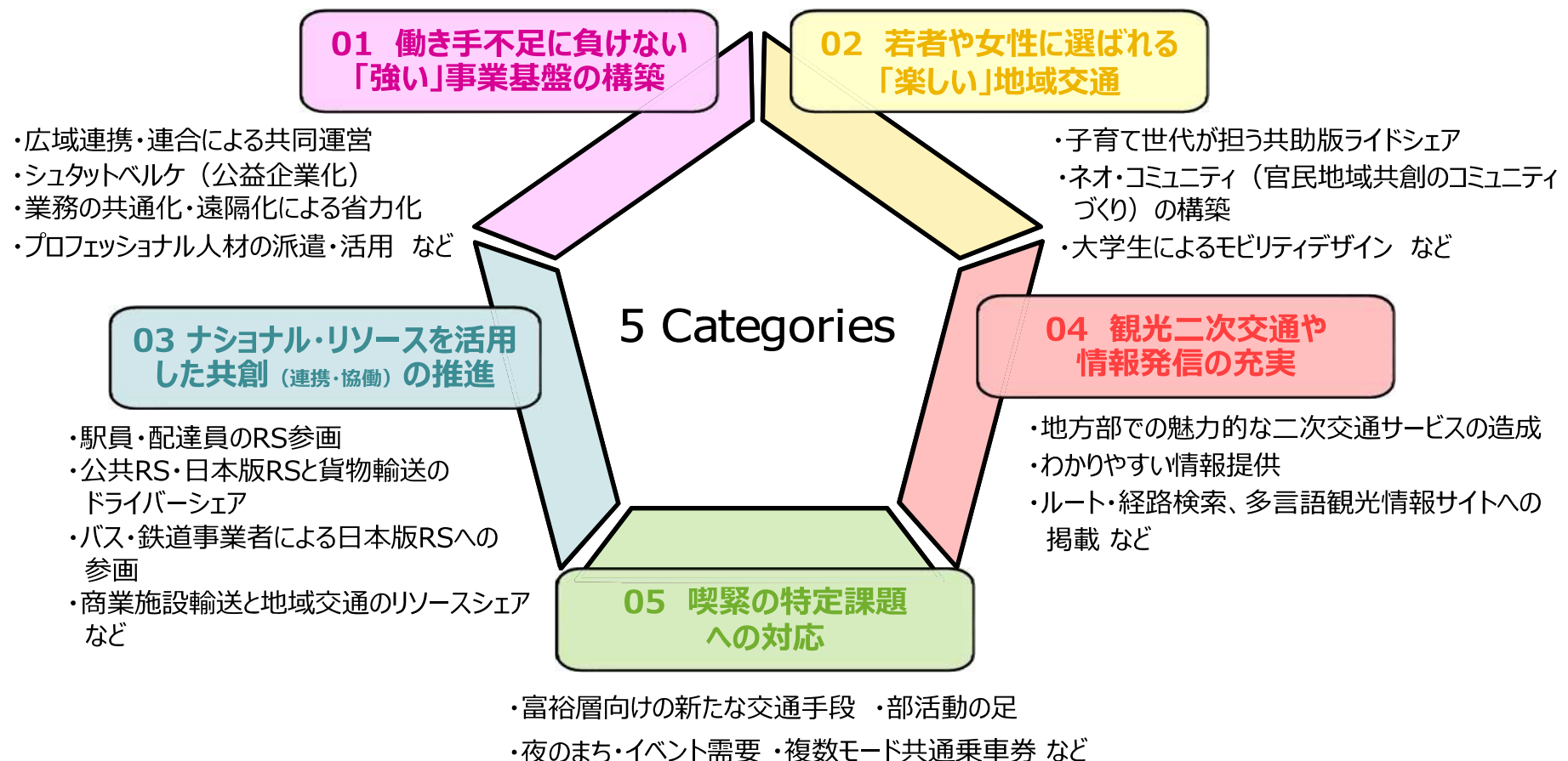
<プロジェクト③・④・⑨についての問合せ先>

総合政策局 モビリティサービス推進課 内山、水田、志賀、松本
03-5253-8111（内線 54-904）、03-5253-8980（直通）

<プロジェクト②・⑧についての問合せ先>

物流・自動車局 旅客課 山本、三浦
03-5253-8111（内線 41-255、41-253）、03-5253-8569（直通）

- 加速する人口減少・働き手不足の下において、地方創生の基盤である地域交通を守るため、従来の発想を超える**持続可能な地域交通の「新しいカタチ」を官民で創出**する。
- 「交通空白」解消・官民連携プラットフォーム（会員数：1166（R7.5.20時点））のもと、**2030年頃を見据え、全国展開・実装が期待される新しい仕組み（運営、技術・サービス、システム、人材等）の構築**に取り組む。
- **令和7年度は、以下の5分野を重点テーマに、計20件程度の実証事業（順次公表）を展開。**



官民連携による地域人材を活用した交通空白解消に向けた取組

Area R7年度 実証地域

福岡県北九州市

Project Members 事業主体、パートナー企業・団体、関係省庁など

事業主体

北九州市

(一社)北九州
タクシー協会

第一交通産業(株)

北九州市交通局

西鉄バス北九州(株)

ネクスト・モビリティ(株)

北九州高速鉄道(株)



地域住民

「おでかけ交通」のドライバーとして
地域交通の維持に参画

Background プロジェクト実施の背景

- 北九州市では、地域住民・交通事業者・行政がそれぞれの役割分担のもとで協業し、鉄道や路線バスの運行が困難な空白地域において、小型車両による乗合交通「おでかけ交通」を運行。
- 深刻な高齢化や運転手不足によりバス路線の維持が困難な状況であり、特に、今後役割が大きくなる「おでかけ交通」の担い手を確保し持続可能にすることが喫緊の課題。

Outline プロジェクト概要

- 「北九州モデル」として交通空白解消に向け、以下の取組を実施。
- 「おでかけ交通」のドライバーとして地域人材を活用。
- 既存の「おでかけ交通」をアプリ予約可能にする等、利便性向上を図る。
- 北九州市と交通事業者が連携して運転体験会や交流会を開催し、ドライバー確保に向けた取組を実施。

Effect 想定される効果

- 地域内でドライバーを採用することで、持続可能な交通体系の構築が可能となるとともに、「地域で交通を守る」という意識醸成が期待される。

Plan 今後の展開（他地域への事業展開構想・見通し）

- 実証実験結果を検証した上で、次年度以降も運行を実施。